

Title	フェレロ氏羅馬盛衰史
Sub Title	
Author	田中, 萃一郎(Tanaka, Suiichiro)
Publisher	三田史学会
Publication year	1924
Jtitle	史学 Vol.3, No.2 (1924. 8) ,p.152(313)- 152(313)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19240800-0152

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

フエレロ氏羅馬盛衰史

Guglielmo Ferrero: *Grandezza e Decadenza di Roma*

(Milano: Fratelli Treves. 20lie)

九百一十一年十二月原著者の本書の第一、第二兩冊を公にするや序文に於て以下續刊して叙して、以て帝國瓦解の時に及ばす可く、オガスタス、ニール帝の間に方りてシーザー時代の民主的商業社會一變して新貴族を生ぜしもこの平和的帝國に於て全盛を極めし貴族は榮華に耽りて自から墮落し且基督教と東洋的禮拜とによりてこの精神上の基礎を崩壞し、以て滅亡の域に陥り、隨て之と共に希臘羅馬の貴重なる文物を埋没し去りし時の事情を明にす可しと述べしも、昨年来國に於て發行せる英譯本第五冊の自序には、この第五冊の出版と共に余の羅馬盛衰史の研究は茲に一段落を告げられたれば茲に聊か一言して以て米國の讀者に對して敬意を表す可しとあり。この第五冊はオガスタス帝の崩御に筆を止めればフエレロ氏は最早や當初の公約を果すの意氣なきものと見る可きか。是れ大に惜む可しと雖も既刊の分は幸にして悉く佛英獨諸國の語に翻譯せられたれば、現世紀初年の史學界を驚かしたる本書の如何なるものたるや知らんことを欲せば試みに一本を座右に備へよ、銷夏の讀物としては最も恰適なり、余輩も英譯 (*The Greatness and Decline of Roma, 5 vols by Ferrero, London (Heinemann 1907-9 30/-)*) によりて頃日(一九一〇年)之を一讀したれば茲に聊かその好評を博せしことの偶然にあらざることを述べんとす。(田中萃一郎先生遺稿の中より)